

## 第6章

### 県土に関する情報

## 第6章 県土に関する情報

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| 1. 土地利用分級図 .....      | 72 |
| ○ 土地利用分級図の構成 .....    | 72 |
| 2. 土地分類基本調査 .....     | 73 |
| ○ 土地分類基本調査項目の概要 ..... | 73 |
| ○ 土地分類基本調査図幅一覧 .....  | 73 |

## 1. 土地利用分級図

土地利用分級図は、土地利用計画等の策定に当たって、土地利用の現状および土地利用の可能性に関する総合的資料を得ることを目的として、土地に関する情報のうち客観的な評価が可能で比較的安定している因子を用いて、土地の総合属性を分類・評価した上で、地図（20万分の1）の上に表示したもので、昭和53年3月に作成している。

### ○ 土地利用分級図の構成

土地利用分級図の種類		評価対象地域	視 点	評 価 因 子		総 合 評 価
				自然的条件	社会的条件	
土 地 利 用 現 況 分 級 図	農 地 利 用 分 級	現況農地（人工草地を含む。）	農業的土地利用の観点から、相対的優位性を評価	○標高 ○傾斜度 ○土壌生産力	○基盤整備 ○団地性 ○経営安定性	3A、2A、A、B、Cの5ランク
	林 地 利 用 分 級	現況林地（自然草地を含む。）	木材生産機能の観点から相対的優位性と林種の可能性について評価	○標高 ○傾斜度 ○土壌生産力	○人工率	2A、A、B、Cの4ランク
宅 地 利 用 可 能 性 分 級 図		現況宅地（傾斜度30度以上を除く全ての地域）	住宅地としての利用の適合度について評価	○傾斜度 ○地盤（地質）	○交通利便性 ○生活利便性	3A、2A、A、B、Cの5ランク
農 地 開 発 分 級 図		現況林地（傾斜度30度以上の地域および人工林植栽限界以上の標高の地域を除く）	農地開発の可能性の強さを評価	○標高 ○傾斜度 ○土壌生産力		A、B、C、Dの4ランク
国 土 保 全 分 級 図		現況林地	異常な豪雨等による崩壊地の発生および通常降雨等によって予想される表面侵食の生ずる減少に関するものを評価	○傾斜度 ○地質	○土砂流出、土砂崩壊防備保安林	A、B、Cの3ランク
自 然 保 護 分 級 図		全域	植物、野生動物、地形地質、自然減少について一定の特異性、固有性または希少性を有するという意味において保護の必要水準を評価	○標高、傾斜度土壌生産力（土地利用可能性分級） ○すぐれた自然 ○植生自然度		A、B、C、Dの4ランクとし参考としてNを表示

（備考）1. 土地利用分級図では、利用転換が困難な市街地等および土地利用が比較的安定している国有林、公共飛行場等の土地は評価を省略した。

2. 土地利用分級図は、基礎となる資料の制約、土地利用分級の性格等にかんがみ、縮尺20万分の1の図面として作成した。

## 2. 土地分類基本調査

土地分類基本調査は、国土調査法に基づいて実施するもので、土地の持っている基本的な性格である地形、表層地質、土壌の自然条件および土地利用の現況を調査し、各々の調査結果を有機的かつ総合的に組み合わせることにより、土地の実態を正確に把握し、その利用の可能性により分類する目的を持っている。

調査結果は、地図（5万分の1）および簿冊にとりまとめられ、土地利用に関する計画の策定または、開発・保全事業の推進等の基礎資料となるものである。

### ○ 土地分類基本調査項目の概要

項目	調査内容	
地形分類	主として、国土の開発、保全および利用に関係ある地形の性状および分布状態を明らかにする。	地形分類図
表層地質	主として、国土の開発、保全および利用に関係ある岩石の分布および性状ならびに地質構造等を明らかにする。	表層地質図
土 壌	主として、国土の開発、保全および利用の高度化に資するため、その成因、形態および性状に基づいて区分し、その分布を明らかにする。	土 壌 図
関連調査	主として、国土の開発、保全および利用の適正化に資するため、土地利用現況、起伏量を明らかにする。	土地利用現況図 および起伏量図

### ○ 土地分類基本調査図幅一覧

